

市民千人が防災訓練
建設会社が今年も
帯広市の宮坂建設工
業(宮坂寿文社長)は
3日、札幌支店とテレ

ビ会議システムで結ぶ
などで市民参加型の防
災訓練を行った。帯広
市の中央公園には住民
ら千人が集まり、救命
訓練などを体験した。

写真Ⅱ。

同社が17年前から毎
年実施し、2003年
9月の十勝沖地震を受
け、05年度から市民参
加型としている。建設
会社主催の訓練は珍し
く、高道伸常務は「地
域と一体で訓練を続け
ることで万が一に備え

たい」と話す。

関連企業や市消防本
部も参加。午前9時に
帯広や札幌などで震度
5強の地震が発生した
と想定し、第1部では
本社を中心に情報交
換、河川や道路のパト
ロールなどを行った。
第2部は公園で地震

体験車の試乗や炊き出
し、土のう積みなどの
訓練や体験会を実施。



近隣町内会や北栄小、
帯広工業高の児童生徒
も参加した。自動体外
式除細動器(AED)
を使った応急措置の実
演では、人形を使った
消防職員の説明に、参
加者たちは真剣に聞き
入っていた。